

30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

県下

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	18	+9	1.00	168	+14	1.00
	30日死者	2	-1	0.11	31	-6	0.18
	30日以内死者	20	+8	1.11	199	+8	1.18

全国

死者	区分	10月中		10月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	378	-60	1.00	3,452	-24	1.00
	30日死者	56	-29	0.15	597	-73	0.17
	30日以内死者	434	-89	1.15	4,049	-97	1.17

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の 倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は31人(-6人)、「24時間死者」は168人(+14人)で、これらをあわせた「30日以内死者」は199人(+8人)であり、「24時間死者」の1.18倍の比率となっている。

(3) 特徴(30日死者の構成率)

地区別 阪神10人(32.3%)、神戸9人(29.0%)、西播4人(12.9%)、東播3人(9.7%)、淡路2人(6.5%)、高速2人(6.5%)、但馬1人(3.2%)の順で発生している。

状態別 自転車乗用中12人(38.7%)、自動車乗車中8人(25.8%)、歩行中8人(25.8%)、原付乗車中2人(6.5%)、自動二輪乗車中1人(3.2%)の順で発生している。

年齢層別 65歳以上が16人(51.6%)、25~64歳が11人(35.5%)、16~24歳が2人(6.5%)、15歳以下が2人(6.5%)の順で発生している。

経過日数別 10日以内の死亡が24人(77.4%)である。

損傷部位別 頭部の損傷が25人と80.6%を占めている。

